

アサヒゴールド K14

【禁忌・禁止】

本合金、類似成分の合金又は配合成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しない事。

【形状・構造及び原理等】

形状：長方形で板状

成分・分量：

成 分	分 量（ % ）
金	58.4
パラジウム	3
銀	15.5
銅	21.5
その他 (Ir・Zn)	1.6

性能：第1種、第2種共用 (試験方法:JIS T6113:2015)

固相点(℃)	830	液相点(℃)	875
密度 (g/cm ³)	13.4		
熱 処 理	軟 化	硬 化	
引張強さ (MPa)	530	840	
0.2%耐力 (MPa)	415	800	
伸び (%)	32	5	
ビッカース硬さ (HV)	175	275	

【使用目的又は効果】

- ・ 歯科補綴物の鑄造に使用する。
- ・ インレー、クラウン、ブリッジ、クラスプ、バー 等

【使用方法等】

(1) ワックスアップ・埋没・焼却

① ワックスアップは通法により行ってください。

② スプルー線は、やや太め（φ2.5mm）を使用してください。
（細いスプルーの使用は湯まわり不足又は鑄巣を生じる原因となります）

③ 埋没材はクリストバライト系埋没材を使用してください。

④ 焼却は、埋没材の取扱説明書等に従ってください。

⑤ 最終焼却温度は 700℃にて行ってください。

(2) 溶解・鑄造

- ・ 真空反転式加圧鑄造機を使用の場合は、カーボンルツボを用い、溶解条件は下表を目安にしてください。

スタート	溶解	溶解	鑄造	冷却	鑄造
温度	温度	時間	タイミング	時間	圧力
900℃	1,005℃	3分	0.3秒	2分	0.3～0.4MPa

- ・ 火炎溶解では、尖鋭な還元炎にて出来るだけ短時間でいり溶湯表面が鏡面・球状を呈し回転し始めた時が鑄造最適時です。
- ・ 溶解の際には、急激な加熱方法を避け、オーバーヒートには十分注意してください。

(3) 研磨

通法により研磨してください。

(4) 軟化熱処理

750℃の炉内に15分間入れ、その後水中急冷してください。

(5) 硬化熱処理

軟化熱処理後、450℃の炉内に入れて5分間係留後、約250℃まで徐冷させ、その後大気放冷してください。

(6) ろう付け

ろう付けには、金合金ろう（K14ろう等）を通法に従って使用してください。

(7) 酸化膜除去

酸化膜の除去には、歯科用金合金専用の洗浄剤を使用してください。

[使用方法に関連する使用上の注意]

(1) 本合金を再溶解する場合は、サンドブラスター等で埋没材、酸化膜を完全に除去し、新しい合金を等量以上加えて溶解すること。

(2) 歯科用フラックスを使用する際には、防塵マスク等を着用し、目鼻喉等の粘膜及び気管を保護すること。

(3) 酸類による洗浄を行う場合には、局所排気装置、換気扇など設備を整え、密閉した部屋での作業を避け、公的機関が許可した防塵マスク・保護めがね・ゴム手袋を着用して作業を行い、洗浄後は中和及び十分な水洗を行うこと。

【使用上の注意】

(1) 使用注意

① 本合金の鑄造設備付近には、局所排気装置、換気扇など設備を整え、密閉した部屋での作業を避け、鑄造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。

② 本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が許可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。

③ 本合金の溶解、加熱、切削、研磨の際には、眼の損傷を防ぐために保護めがねなどを使用すること。

④ 他の合金と混熔しないこと。

(2) 重要な基本的注意

本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

(3) 不具合・有害事象

有害事象として、掌蹠膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹（遅発性金属アレルギー疾患）を発症することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・ 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元・製造元：アサヒブリテック株式会社

住 所：〒651-2241兵庫県神戸市西区室谷1-6-3

電 話 番 号：078-993-1301（製造販売元）

：03-6270-1831（お問合せ先）